資料1－1

こどもまんなか
こども家庭庁

こども若者★いけんぷらすの結果について

令和７年６月２３日
第７回　インターネットの利用を巡る青少年の保護
の在り方に関するワーキンググループ

こども家庭庁成育局安全対策課

こどもまんなか
こども家庭庁

開催概要

テーマ：SNSもネット動画も。安心して楽しみたい！スマホ時間のモヤモヤ、聴かせて！

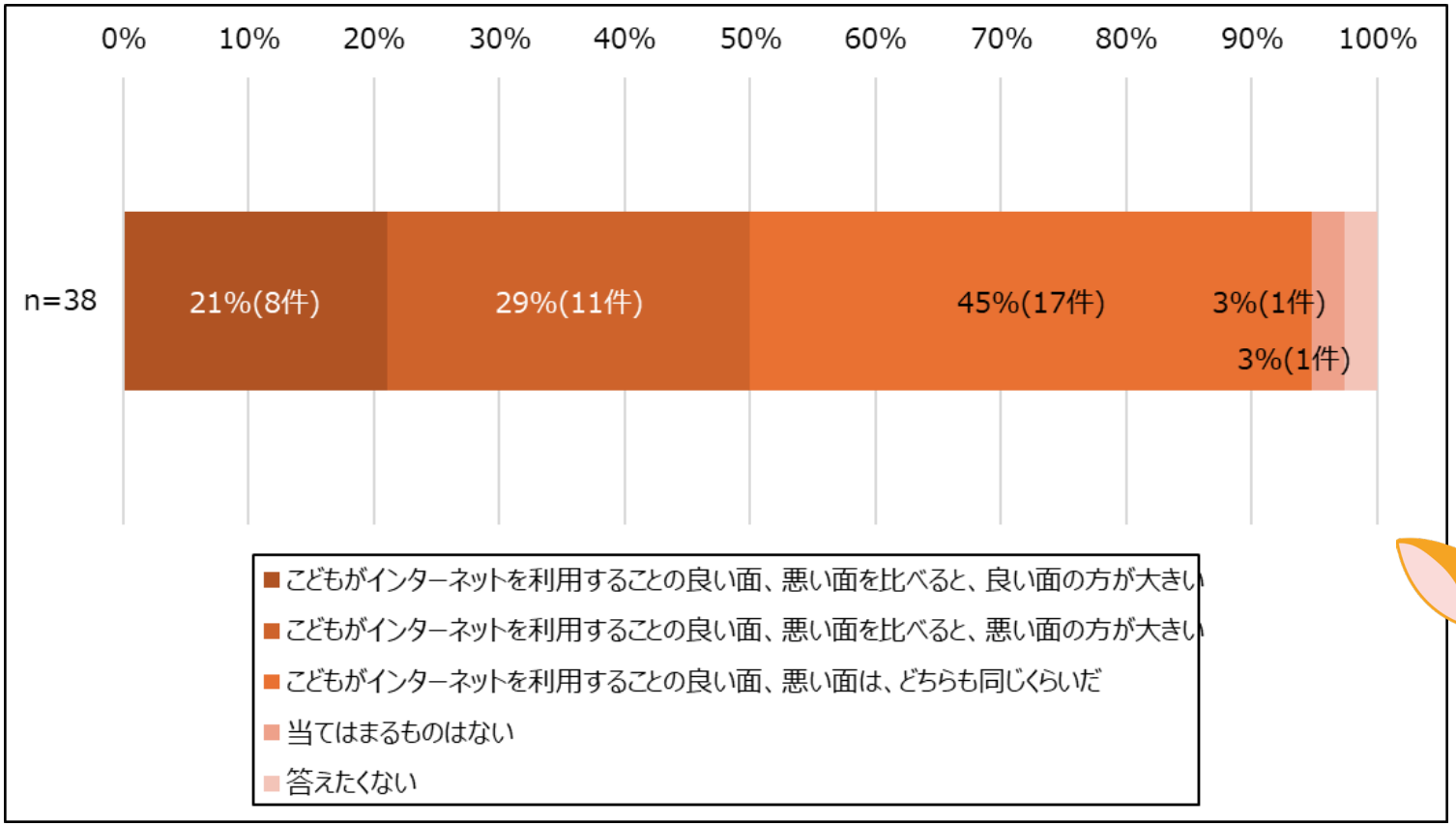
対面
開催日：令和７年５月24日（土）
場　所：こども家庭庁
参加者：小学生（４年生～６年生）12名、中学生６名、高校生年代 15名

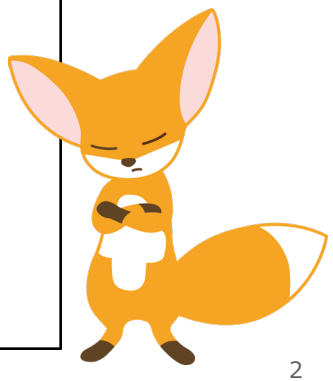
Webアンケート
開催日：令和７年５月19日（月）～６月１日（日）
参加者：小学生（４年生～６年生）８名、中学生 11名、高校生年代 21名

こどもまんなか
こども家庭庁

インターネット利用の良い面・悪い面について

Q　こども（ここでは17歳（さい）とそれより年下のこどものこと）の
インターネット利用に関して、自分の考えに当てはまるものをお選びください。





こどもまんなか
こども家庭庁

インターネット利用の良い面・悪い面について

良い面（主な意見）

○ 検索、待ち合わせ、ルート案内、乗り換え等が便利
- 検索するとすぐ情報が出てきて便利
- 初めての場所に行っても迷子にならない

○ 勉強への利活用
- 学校で取り扱われないような教材が使われており、勉強が面白い
- 分からないところがあっても、調べて解決できる
- 動画のおかげで短時間で予習・復習ができる

○ 創作・表現の楽しみ
- 小説を書くのが好き。読んでくれる人がいると励みになる。

○ 人とのつながり、コミュニケーションの容易化
- 遠くに住んでいる友達とも気軽に連絡を取り合える
- 友達がいなかった時でも、ネット上の友達と話せた
- 学校が苦手で、対面で話すよりオンラインの方が楽
- 好きなことや、同じ趣味の人と繋がることができる
- 先生にいつでも相談できる

○ 興味・関心の広がり
- 推しができた
- 海外の文化や言語を知ることができて楽しい

悪い面（主な意見）

○ コミュニケーションミス、人間関係、不本意な投稿
- 意図しない言葉の受け取られ方をされる／してしまう
- LINEでの仲間外れ、陰口を言う、噂話が広まる
- 自分の顔が写った写真が、許可なくSNSに投稿等される

○ 長時間利用・睡眠不足
- 自分でもわかっているけど、依存気味になっている
- （友達との）LINEのやめ時が分からなくなる
- SNS利用や課題の提出期限により睡眠不足になる

○ 見たくない情報との遭遇
- グロい画像を見て吐きそうになる、怖すぎる
- 性的な広告が出てきて気まずくなる、不快になる
- 誹謗中傷、コメント欄が荒れていると嫌な気持ちになる

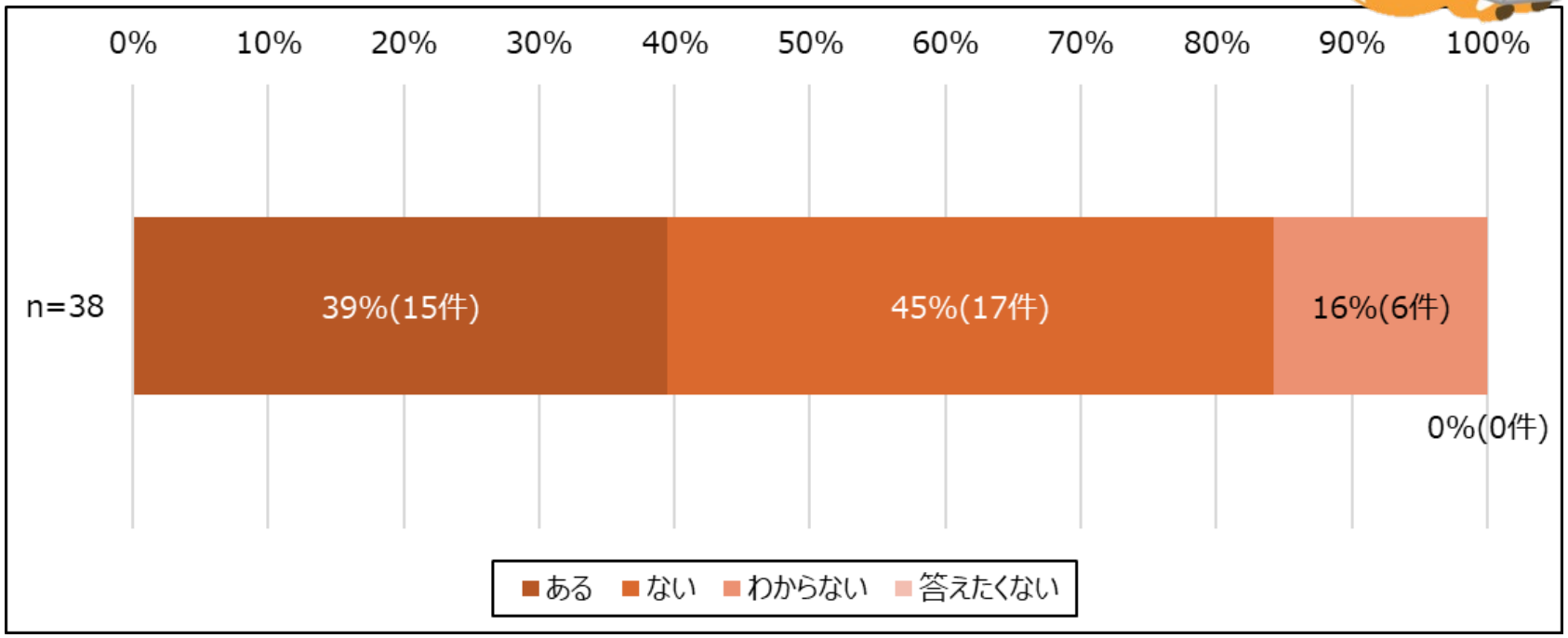
○ 悪意を持った人との遭遇
- オープンチャットで個人情報を聞いてくる人がいる
- ゲームで執拗にフレンド申請を求められ怖かった

○ その他
- オンラインゲームで詐欺に遭った、投資詐欺広告が多い
- フィルタリングの精度が悪い
- 誤った情報がある、どれが正しい情報か分からない

こどもまんなか
こども家庭庁

安全・安心なインターネット利用のために①

Q　SNS等を使用していて、良くなかったと思う投稿や、
失敗してしまったなと思ったことはありますか？

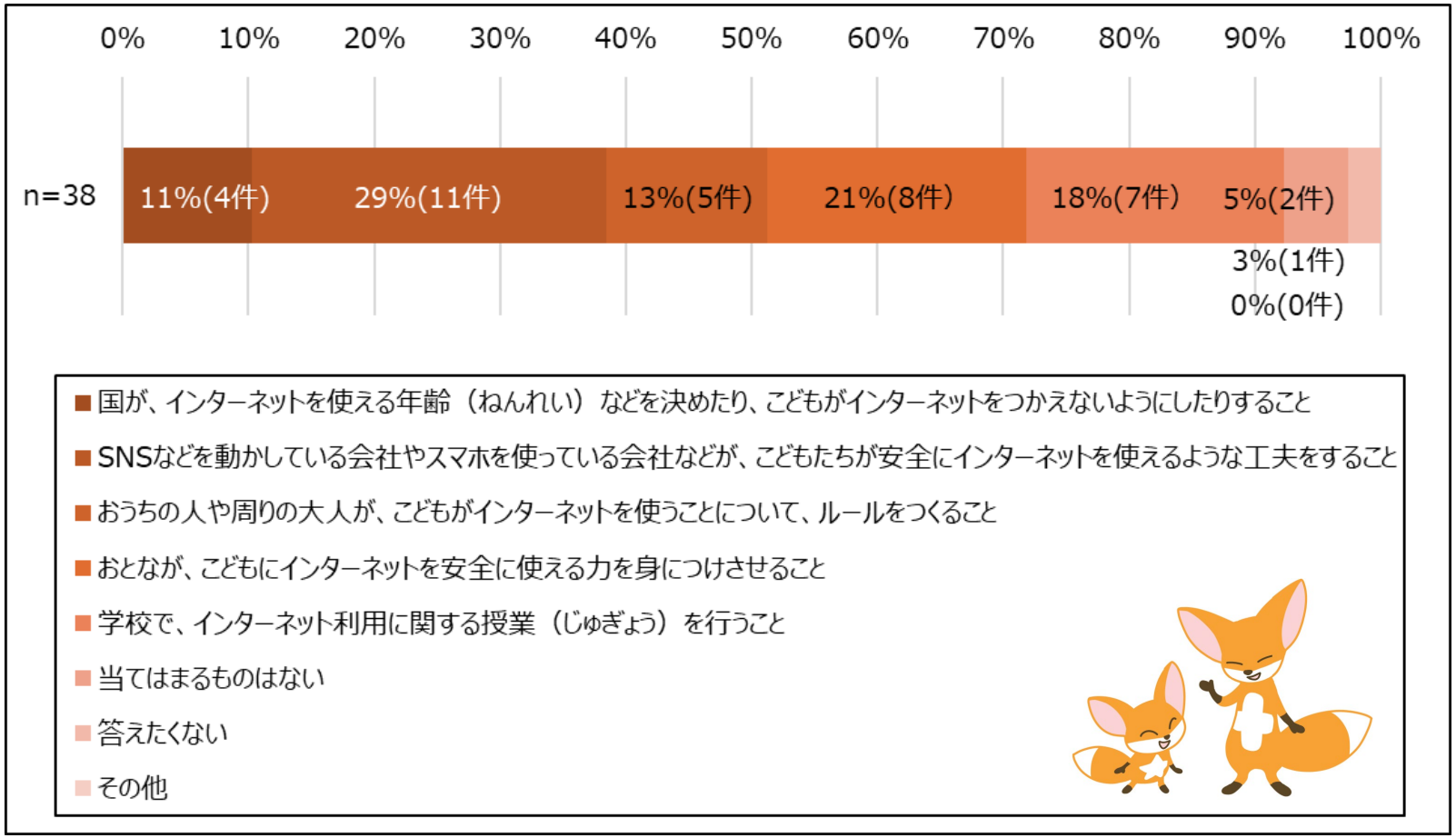


○　気になった情報を調べていて、一番最初に出てきたことを信じたら間違っていた情報で、人を傷つけた。
○　（SNSに）勘違いしやすく、嫌な気分になるような投稿してしまい、怒る人が出てきた。（自分の）国語力がなかった。
○　SNSアカウントを趣味用と一般用で分けているが、趣味の写真を一般用のアカウントで投稿してしまった。

こどもまんなか
こども家庭庁

安全・安心なインターネット利用のために②

Q こどもが安全・安心にインターネットを使うために、一番必要だと思うことは何ですか？



こどもまんなか
こども家庭庁

安全・安心なインターネット利用のために③

関連する主な意見

- 妥協をせず、厳しく制限をかけてほしい。
- 悪い使い方とかするくらいなら、15歳とか20歳まで使えませんってした方が良いかなと思う。
- 深夜とか普通のこどもとかは使わない時間帯は利用できなくて良いと思う。
- 犯罪も増えてきていると思うので、出会い系アプリの存在を規制する必要はあると思う。
- 安全に使ってない人が多いなら封鎖しちゃえ！はちょっと極端な考えなのかなと。
- 大人は厳しく制限するのではなくて何がダメでどんな怖さがあるのかを伝えたり、軽く制限をかけるのが良いと思う。
- SNS事業者がその会社の自由で決めたらよいのでは。SNSは国のものではないので、国が規制する必要はないと思う。
- SNSをやっているのは一つの会社なので、国が決めてしまうと国の思い通りになってしまうところもある。会社がルールを決めるなら全然従うし納得できるが、それを国や大きな機関が決めるのは反対。
- 企業の都合でこどもがサービスから排除されるといった不利益が生じかねない。法律による年齢制限は反対。
- 規制より、（SNS事業者が）担当者を増やして、報告があったらすぐに投稿等の削除ができるようにしたら良いと思う。
- 高校生以下とまとめて考えるのではなく、小学生、中学生、高校生と区切って政策を考えてほしい。
- 失敗をしてしまっても、それが学びになり、こどもが考える過程になるので、国が法的な規制をするのではなく、家族や自分の中でルールを決めたら良いと思う。
- 自己責任の下、保護者も放ったらかしではなく、何しているかぐらいは監視できるようにしたら良いと思う。
- 親が勝手に制限しても隠れて使うので、良い面も悪い面も話し合った上でルールを決めないと意味がない。
- 例えばこどもと大人で（インターネット上の）世界を分けてほしい。事業者がやるとどうしても漏れが出てくるので、国がやった方が良いのではないかと思う。
- こどもに制限をかけても必ず突破していきます。なので、みんな大人たちが目を配る環境を作ってください。

こどもまんなか
こども家庭庁

安全・安心なインターネット利用のために④

関連する主な意見

- ○ 全部親に見られるのは、自分のプライバシーの侵害だと思う。どんなサイトを開いているかだけ見られるようにしてほしい。
- ○ フィルタリングの精度に問題があり、授業に関係することを調べたい時に閲覧できなかったり、絶対に問題のないサイトでも閲覧できないことがある。何も見れないので、結局解除された。
- ○ ペアレンタルコントロールができるアプリや、誹謗中傷の相談等ができるアプリを導入したら良いのではないか。また、その利用料を国が補助してはどうか。
- ○ SNSやインターネットの授業なのに、紙の教材なのが訳が分からない。使い始める時期は人によって違うが、自分は小学２～３年生から使い始めていたのに、授業は高校や中学になってからなので、タイミングをもっと考えた方が良い。
- ○ 小学校でのインターネットに関する指導が、６年間で１回だけだった。すごく少ないと思う。
- ○ 意見と悪口・誹謗中傷の違いを分かっていない人が多いように見える。学校でそういう違いとかをちゃんと教えてほしい。
- ○ オブラートに包んだ啓発ではなく、より現実的な内容を体験型で学習させるべき。
- ○ こどもだけでなく、保護者も対象にした広告を実施することで、保護者がこどもを気に掛けるようにしてはどうか。
- ○ こどもの相談先ではなく、保護者が自分のこどもが抱えるトラブルについて相談できる場所が必要だと思う。
- ○ こどもに携帯電話を買う時や、アプリをインストールする時に、講習のようなものを受けさせれば良いのではないか。
- ○ （SNSやゲーム上で）違反行為があればアカウントを削除する、一定期間使えないようにするなどの罰則を設ける。
- ○ よくない言葉を投稿・送信しようとすると、送信できない又は相手に表示されなくなる仕組みを導入してはどうか。併せてすり抜け・回避の防止や、誤って非表示にされることによる誤解を防ぐためにも、精度を高める必要がある。
- ○ 誹謗中傷を受けた時に、気軽に相談できるようにした方が良い。（削除の）作業要請をLINEでできるようにするなど。
- ○ ネット依存とかなっている人が多そうで、もっと国や大人に取り上げてもらいたい。

こどもまんなか
こども家庭庁

今後の予定等

今後の予定

○　こどもの意見が、ワーキンググループの検討結果にどう反映されたかをフィードバックするとともに、反映が難しい意見については、その理由を説明。

○　こども家庭庁において、決定された「課題と論点の整理」の「やさしい版」の作成を検討。

参考URL

○　こども若者★いけんぷらす　特設サイト
https://ikenplus.cfa.go.jp/

○　資料・フィードバック
https://ikenplus.cfa.go.jp/announcements/d8vukxkrmqaetufd